

城外の鶺ノ木地区 寺院と迎賓館施設、そして祭祀の場



外郭東門から城外側に出た鶺ノ木地区からは、秋田城に付属する重要な施設が見つっています。
鶺ノ木地区は復元整備が進み、史跡公園のメインとなっています。

■鶺ノ木地区の概略図

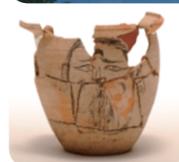


鶺ノ木地区はお寺や立派なトイレが作られた重要な場所だったんだ!

古代沼 秋田城における祭祀の場



鶺ノ木地区の中心にある古代沼の調査では、「まじない」の道具が大量に出土し、平安時代にこの沼で人のケガレを取り除くまじないの祭祀が行われていたことがわかりました。祭祀を行ったと思われるテラス状に張り出した部分も見つかり、復元しています。現地ですべてご確認ください。



■まじないに使用した土器

井戸 高清水岡に湧く水



天平の井戸
この井戸から出土した木簡により秋田城の始まりが裏付けられました。

平安の井戸

現在もきれいな水が湧き、井戸の材が水漬けで保存されています。



古代水洗厠舎 すごい設備を持った古代のトイレ

鶺ノ木地区東側の沼地岸辺からは、全国的にも類例のない立派な古代の水洗トイレが発見されました。便槽の土を調べると、ブタ食を習慣とする人のお腹にいる寄生虫の卵が見つかりました。当時日本ではブタ食は行われていなかったため、来航の記録などから大陸から訪れていた渤海使が使用した可能性が考えられています。

四天王寺跡 古代最北の寺院跡



南東部の丘の上からは秋田城跡の中で一番大きな建物が見つかりました。この建物とその周囲の建物群は、歴史書に伝わる秋田城の付属寺院「四天王寺」であり、渤海使などをもてなす迎賓館施設も兼ねていたと考えられています。近くには、寺院にみられる旗や吹き流しなどの支柱と推定される柱穴も見つかりました。



■三本柱遺構

秋田城跡は古代を感じることができる素敵な場所なんだ。史跡公園と資料館にぜひ足を運んで見てね。待ってるよ!

秋田城跡の各種事業やイベントに関するお問い合わせは

秋田市立秋田城跡歴史資料館

〒011-0907 秋田市寺内焼山9番6号
[TEL] 018-845-1837 [FAX] 018-845-1318
[E-Mail] ro-edac@city.akita.lg.jp

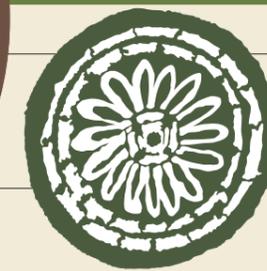
【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】年末年始(12月29日～1月3日)

[URL] <https://www.city.akita.lg.jp/kanko/kanrenshisetsu/1003616/index.html>



あきまる 秋麻呂くん 通信



令和元年7月31日秋田城跡歴史資料館

『秋田城』と、みんなの絆をつなぎたいから。

秋田城のみどころ特集



秋麻呂くん

秋麻呂くん通信は、皆さんに秋田城のことをよく知ってもらい、秋田城との絆を深めてもらうための情報誌です。

今回は、最北の古代城柵秋田城のみどころをご紹介します。現在、秋田城跡では城跡の中央から東側が史跡公園として整備され、古代の門や建物が復元されています。また、城の西側には歴史資料館も整備されています。

それでは、緑豊かに歴史薫る、秋田城をご案内します!

最北の古代城柵官衙遺跡秋田城とは?



■秋田城跡周辺の航空写真(南東から)
手前に見える緑の多い辺りが秋田城跡

発掘調査により、秋田城は中心施設である政庁と、城の周囲を塀で囲む二重の構造であることがわかりました。これは平城京のような都城をモデルとしています。

秋田城からは他に出入口の城門や城内を通る大路、倉庫群、工房群、住居群、祭祀を行った沼、寺院や迎賓館施設なども見つっています。

これら発見された遺構や遺物、また、歴史書に残る記述などから、秋田城が古代出羽国の政治・軍事・文化の中心地として機能する重要な施設だったことがわかりました。さらに大陸にあった渤海国との外交交流や、北方に暮らす蝦夷の支配や交易においても、特別な役割を果たしていた城だったのです。

秋田城基本データ

史跡指定面積:約90ha(893,733㎡)
外郭の形:東西・南北約550mの不整形
外郭の塀の総延長:約2.2km
政庁(中心施設)の形:東西94m、南北77mの長方形

日本海や男鹿半島まで見渡すことができるんだね!



■ジオラマとして復元された秋田城
秋田城がある高清水丘陵は標高約50m。
見晴らしの良い丘です。

政庁 秋田城の中心施設

政庁は重要な政務や儀式などが行われる、秋田城の中心となる施設です。塀で囲む構造や、中心建物である正殿の前面に広場を設け、その左右に脇殿を対称に配置する形も、都の宮殿と同じ造りが採用されています。

明治時代の道路の開削により失われた南西側を除き、現地に政庁東門や瓦葺きの築地塀、建物跡などが復元されています。



■復元整備された政庁

政庁から見える鳥海山

政庁正殿の南側正面に秋田・山形の県境にある鳥海山が見えます。鳥海山は古代出羽国を象徴する信仰の対象であった霊峰であり、この眺望も意識した政庁の配置と考えられます。

焼山地区 海を望む秋田城の物流拠点

焼山地区からは、秋田城最大の門である2階建ての外郭西門が見つかり、また、立派な城壁(築地塀)も非常に良い状態で発見されています。

秋田城は海を通じた交流・交易を北方や大陸と行っていました。西門は、海からやって来た人々や積み荷を迎え入れる、重要な門だったのでしょ。



資料館北側の調査で見つかった建物群は巨大な倉庫群と考えられ、交易品などを保管していたと想定されています。

■ジオラマとして復元された倉庫群

秋田城跡歴史資料館へようこそ!



■資料館の外観



■展示室の様子

平成28年4月開館。秋田城跡の発掘調査に関する成果や、出土した遺物を豊富に展示しています。全国で唯一の発見例である非鉄製小札甲の床下展示や、赤外線カメラを用いた古代の文字の解読体験ができるコーナーなど、みどころ満載!!古代の秋田を見て触れて感じることができます。



大畑地区 政庁と外郭東門を結ぶ規格性の高い道路と生産の要衝



■復元された政庁東門と城内東大路

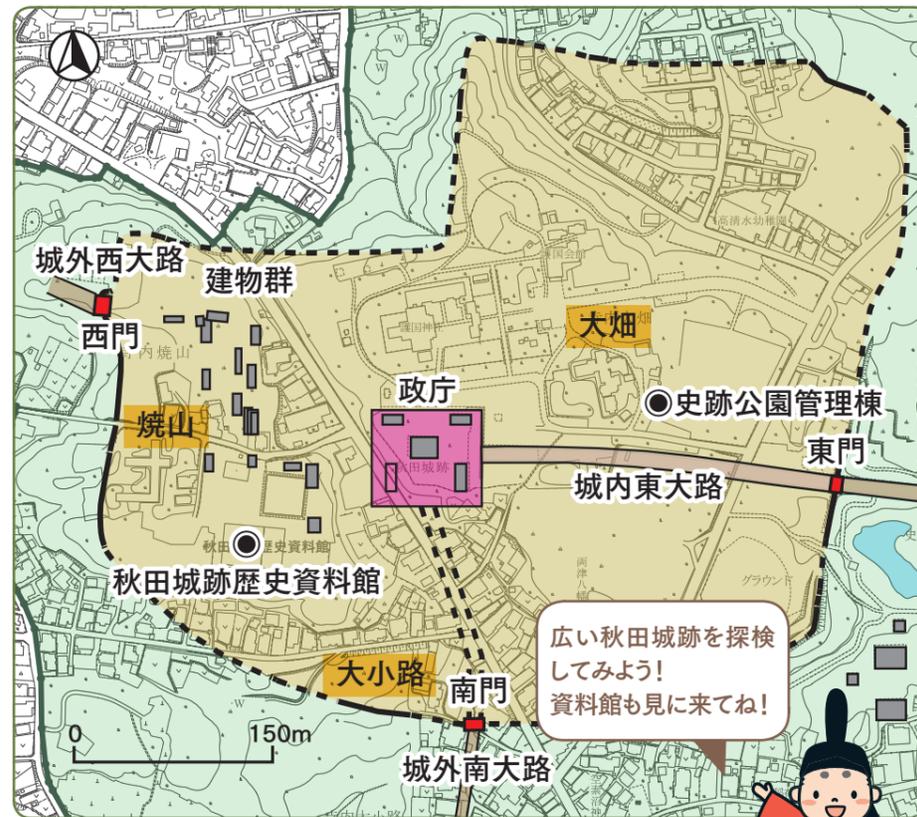
東大路と工房跡

政庁から外郭東門に向かう道を城内東大路と言います。調査により確認された幅約12mの奈良時代の道路跡を元に復元したものです。

大路付近の発掘調査で、この一帯には鉄や漆の製品を生産する工房が集中して見つかりました。秋田城における一大生産拠点だったようです。資料館で展示している非鉄製小札甲は、この大畑地区の工房跡から出土しました。



■出土した非鉄製小札甲の復元



■秋田城の基本構造

広い秋田城跡を探検してみよう! 資料館も見に来てね!



大小路地区 秋田城の正面玄関と居住域

秋田城跡の南、大小路地区からは秋田城の正門である外郭南門跡が発見されました。遺構の規模からも大きく立派な門だったと推測できます。付近からは竪穴建物跡が多数見つかり、硯や刀子、矢じりなどが出土していることから、城内南側に役人や兵士の居住域があったと考えられます。



■外郭南門の発掘調査の様子

史跡公園管理棟 ガイドをご希望の際はこちらへ



■史跡公園管理棟

史跡公園の駐車場の一面にある秋田城跡ボランティアガイドの会が常駐する施設「管理棟」。午前9時から午後4時まで無料で公園のガイドを行っています。活動期間は4月から11月までです。

事前(5日前まで)に公園ガイドの申し込み予約も受け付けています。資料館へご連絡ください。

外郭東門 史跡公園のシンボル



■復元された外郭東門と土取り穴



■復元された外郭東門

秋田城には、周囲を区画する城壁の東西南北に門が設けられていたとされ、北門以外は遺構が発見されています。そのひとつである外郭東門は立体復元されており、史跡公園のシンボルとして地域の方に親しまれています。

外郭東門付近の調査では土取り穴という大きな穴が見つかり、中から大量の土器や木製品、木簡や漆紙文書など、古代史や秋田城の研究において重要な遺物がたくさん出土しました。

土取り穴は文字通り粘土を採った穴だよ。採った粘土は秋田城を囲む築地塀の材料にしたんだ。

